



# 社協 なかはら

SHAKYOU NAKAHARA

## もくじ

災害ボランティアについて …………… 1面	ボランティア銀行なかはらのご案内 … 4面
シリーズ「私たちこんな活動しています」 …… 2面	ポポラーレのご紹介 …………… 4面
賛助会費のご報告 …………… 3面	ありがとう温かい心 …………… 4面
共同募金の実績のご報告 …………… 3面	福祉用具リサイクル情報 …………… 4面

※紙面上では「社会福祉協議会」を「社協」と略して表記している箇所があります。

発行所 川崎市中原区社会福祉協議会  
川崎市中原区今井上町1-34  
和田ビル1階 福祉パルなかはら  
Tel 722-5500 Fax 711-1260  
発行人 青木 英光  
編者 社協なかはら編集委員会

令和  
元年度

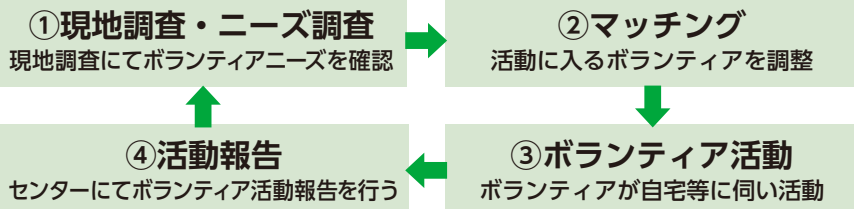
# 災害ボランティアセンターの役割と 台風19号被害における現在の活動状況

## 災害ボランティアセンターとは

災害ボランティアセンターは、大規模災害等が発生した際に被災した人や地域を支援するために、市町村の社会福祉協議会や行政・ボランティア関係団体が共同して臨時的に開設・運営するボランティアセンターです。

災害ボランティアセンターでは、被災地の支援ニーズの把握・整理を行うとともに、支援活動を希望する個人や団体の受け入れ調整やマッチング活動などを行います。

### 災害ボランティアセンターの流れ



災害ボランティア活動の様子

## 台風19号被害における現在の活動状況

令和元年台風19号は東日本に記録的豪雨をもたらし、川崎市内でも広い範囲で浸水などの被害を受け、川崎市からの要請により川崎市災害ボランティアセンターが開設されました。現在も被害にあったご家庭からの依頼を受けて、汚れた写真を洗浄するボランティア活動が川崎市内で行われています。

新型コロナウイルスの影響で活動も一時ストップしていましたが、令和2年秋ごろから活動を再開しています。

写真洗浄の工程は、①アルバムから切り出し②水洗い③仕上げ（エタノール）となっています。写真を元通りに復元することはできませんが、汚れを綺麗に落とし残った部分を守ることはできます。

1枚1枚の作業となるため時間はかかりますが、写真にしか残っていない貴重な思い出を残すことができます。

もし、ご家庭に浸水した写真がそのまま残っている場合は、お気軽に中原区社会福祉協議会までご相談ください。また、活動に興味がある方も、お気軽にご相談ください。



写真洗浄ボランティアの様子

シリーズ

Vol. 3

# 私たちこんな活動しています!



このシリーズ企画では中原区内7カ所の「いこいの家」を紹介しています。

「いこいの家」とは、地域の高齢者のふれあいや生きがいの場としての機能に加え、高齢者を地域で支え合い、助け合っていくための福祉活動の拠点機能を併せもつ施設です。川崎市内在住の満60歳以上の方ならどなたでもご利用いただけます。

※ 「いこいの家」は「老人いこいの家」の愛称です。

## 中丸子老人いこいの家



館内の様子



いこい元気広場

中丸子老人いこいの家の最寄り駅は向河原で、南武線脇にあります。奥まった場所にはありますが、新しくできた向河原駅前踏切迂回路を通れば迷わずに来所することができます。建物は2階建てで、入ってすぐ吹き抜けになっており、大広間は2階にあるため日当たりもよく、周りに建物がないので開放感もあります。

童謡・フォークダンス・ボールストレッチ・ぬりえ・リズム体操・フラワーアレンジメントなど多様な教養講座があり、皆さん楽しく元気に参加されています。また、書道・踊り・会議・ミニディ等様々な自主講座もあります。今現在はコロナ禍のため自粛気味となっておりますが、教養講座・自主講座ともに感染予防対策をとり活動しております。

ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

住所：中原区中丸子378番地4 ☎433-3866

## 丸子多摩川老人いこいの家



いこい元気広場



絵手紙教室

丸子多摩川老人いこいの家は、新丸子駅から徒歩5分ほどで、商店街をぬけた静かな住宅街の中にあります。平屋のバリアフリーで床暖房が完備されており、過ごしやすい建物となっています。

体操・ヨガ・太極拳・手芸・書道・踊り・絵手紙などの自主グループが活動しています。フリー利用では、囲碁があります。また、現在は中止となっておりますが、卓球等もご利用できます。川崎市介護予防事業の『いこい元気広場』を予約制で行っています。

地域シニアクラブの活動や、乳幼児の親と子の子育てサロン（現在、縮小して開催）など地域の交流の場にもなっています。

そして災害時には、丸子地区社協防災ネットワークの連絡所として地域拠点の1つになっています。

ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

住所：中原区丸子通1丁目639番地3 ☎411-0551

# 令和2年度 賛助会費のご報告 (令和3年2月28日現在)

多くの皆さまのご協力ありがとうございました！

**賛助会員 1,763名** (町会、福祉団体等含む)  
**賛助会費 総額 3,775,500円**



今年度は7月～10月を「賛助会員加入運動強化月間」とし、賛助会員を募集いたしました。

## 〈賛助会費の用途〉

### 地区社協の活動財源として 2,638,650円

区内5地区社会福祉協議会の活動のため、総額の約70%を配分しています。

### 子育て支援のために 204,850円

区内の子育て家庭の支援と交流を図るため、各種講座等を開催しています。

### 地域福祉活動のために 216,000円

区社協事業の運営や区民に対し車いすの貸出し事業を行っています。

### ボランティア活動推進のために 498,000円

ボランティアセンターの運営やボランティア講座、運営委員会の開催をしています。

### 福祉教育推進のために 56,000円

学校での福祉授業への協力や、学校・企業・団体が行う福祉体験に伴う機材の貸出を行っています。

### 賛助会費募集の財源として 162,000円

組織運営及び事業活動を推進するため、賛助会員の募集を行っています。

## 令和2年度 共同募金の実績のご報告

今年度も共同募金事業へのご協力ありがとうございました。

募金は神奈川県共同募金会で配分審査を行い、下記のような事業へ役立てられています。

### 【赤い羽根共同募金】

- ①民間社会福祉施設・更生保護施設等の設備・修繕費など
- ②高齢者及び障害者の家事介護・配食・送迎サービスを実施する非営利型在宅福祉サービス団体の活動費
- ③障害者地域作業所や生活ホーム等の整備・修繕費など
- ④ボランティア育成、民間福祉活動の支援
- ⑤区・地区社会福祉協議会の事業費

### 【年末たすけあい募金】

- ①高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯などへの見舞金(要介護度、障害等級などの該当要件があります)
- ②区・地区社会福祉協議会の事業費

**共同募金 23,942,493円**

※令和3年2月28日現在

区分	募金説明	赤い羽根共同募金	年末たすけあい募金
戸別募金	自治会・町内会や民生委員の協力で、募金ボランティアが各家庭を訪問していただいた寄付金	11,666,693円	9,376,092円
法人募金	企業や法人を中心に、ダイレクトメール方式や訪問などを行い、いただいた寄付金	481,200円	—
学校募金	区内小・中学校、高等学校から協力していただいた寄付金	653,550円	—
職域募金	会社・施設などの社員・職員からいただいた寄付金	516,000円	—
イベント募金	川崎フロンターレとの協働により試合会場でいただいた寄付金	311,444円	—
その他の募金	募金活動期間外に集まった寄付金や区内施設の募金箱や個人団体からいただいた寄付金	890,890円	46,624円
合計		14,519,777円	9,422,716円

# インフォメーション

## 令和3年度 ボランティア銀行なかはら福祉活動助成の申請団体を募集します。

この助成金は中原区内で福祉活動を行っている団体の育成・支援を目的に交付しています。団体活動の活性化にぜひお役立てください。

**募集期間：**令和3年4月12日(月)～5月31日(月)

**申請書配布：**令和3年4月5日(月)から

★申請書は中原区社協窓口またはホームページにて

### 〈申請にあたっての注意事項〉

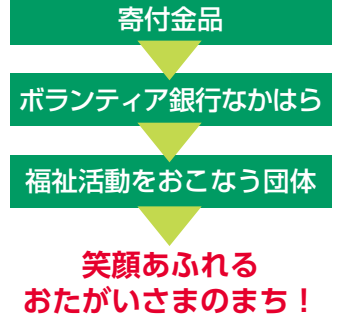
- 申請書の他に、会則、会員名簿、決算・予算書、事業報告・計画書の提出が必要です。
- 会費等の自主財源のない団体、会員募集を行っていない団体は助成の対象になりません。
- 令和2年度に助成を受けた団体は、報告書を提出後に申請してください。
- 立ち上げ準備中の団体は、1回限り上限50,000円の助成申請ができます。

※助成額は運営委員会にて審査を行い、各団体へ5,000円～30,000円交付します。

※助成金の交付は8月中旬を予定しています。

## ボランティア銀行なかはらとは？

住民や企業から寄せられた寄付金品を福祉活動をおこなうボランティアグループ等の活動支援に役立てるシステムです。



【問合せ】 中原区社会福祉協議会  
 TEL：722-5500 FAX：711-1260  
<http://www.nakaharaku-shakyo.jp>

## ボランティア情報紙『ポポラーレ』のご紹介



なかはらボランティアセンターキャラクター  
ポラ嬢

なかはらボランティアセンターでは、年に4回(4月・7月・10月・1月)ボランティア情報紙『ポポラーレ』を発行しています。ボランティアに関する情報や中原区内で活動しているボランティア団体の活動紹介、ボランティア募集などの記事を掲載しています。

ポポラーレは、行政や関係機関、学校にご協力いただき窓口を設置・配布しています。また、中原区社協ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください。



ポポラーレ1面

問合せ なかはらボランティアセンター ☎722-5581 FAX711-1260

《問合せ》 中原区社会福祉協議会  
 TEL 722-5500 FAX 711-1260  
 ※先着順のためご希望に添えない場合があります。  
 ※問合せ後の連絡・引き取りは当事者同士で行っていただきます。

随時募集中！

ゆずりまします

- ◇デジタル血圧計
- ◇シルバーカー
- ◇シャワーチェア
- ◇防水ギブスカバー
- ◇ポータブルトイレ
- ◇車いす(自走式)
- ◇浴槽すすり
- ◇ベビーベッド

福祉用具リサイクル  
 中原区社協では、福祉用具をゆずりたい方と必要な方の橋渡しを行っています。

ゆずりまします

- 【寄付金】
- ・イトーヨーカドー労働組合
  - ・武蔵小杉支部
  - ・イトーヨーカドー労働組合 武蔵小杉駅前支部
  - ・ブルーベリーの会
  - ・日立金属株式会社
- (敬称略)

ありがとう温かい心